学校番号	208

令和８年度　芸術科(書道)

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書道Ⅲ」　(東京書籍)						
副教材等	無し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道ⅠⅡの学習を基盤に、鑑賞能力を高め、創造力を伸ばす
・「鑑賞」教材などで近現代の書家の作品に触れ、書に関する関心を高める
・生涯にわたり書を愛好する心情を育てる
・印の歴史や用法理解、篆刻作品を制作する

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けようにする。
(2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理科している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

一学期	漢字の書	篆書 「散氏盤」 「詔版」 「篆書張茂先励志詩」	a. 書道Ⅰ・Ⅱの楷書の学習を踏まえて古典を鑑賞し、字形や線質、構成などの表現性や、楷書の美の多様性について理解している。 b. 篆書の良さを感受し、意図に基づいて構想し、古典の特徴や書風に即した用筆・運筆・字形などを工夫している b. 創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c. 楷書の古典の表現を自らの書風として昇華させた作品を鑑賞し、古典を生かした創造的な表現について話し合い、主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 プリント	振り返りシート 観察
		隷書 「里耶秦簡」 「萊子侯刻石」 「石門頌」	a. 書道Ⅰ・Ⅱの楷書の学習を踏まえて古典を鑑賞し、字形や線質、構成などの表現性や、楷書の美の多様性について理解している。 b. 篆書の良さを感受し、意図に基づいて構想し、古典の特徴や書風に即した用筆・運筆・字形などを工夫している b. 創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている c. 楷書の古典の表現を自らの書風として昇華させた作品を鑑賞し、古典を生かした創造的な表現について話し合い、主体的に取り組もうとしている。 c. 漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。			

二学期～三学期	仮名の書	「中務集」 「秋萩帖」	a.　書道Ⅰ・Ⅱの楷書の学習を踏まえて古典を鑑賞し、字形や線質、構成などの表現性や、楷書の美の多様性について理解している。 b.　篆書の良さを感受し、意図に基づいて構想し、古典の特徴や書風に即した用筆・運筆・字形などを工夫している b.　創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c.　楷書の古典の表現を自らの書風として昇華させた作品を鑑賞し、古典を生かした創造的な表現について話し合い、主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 プリント	振り返りシート 観察

二学期	漢字の書	・楷書 「爨宝子碑」 「天柱山遊息題字」 「賢愚経(大聖武)」 <

	漢字仮名交じりの書	自己表現①大切にしている言葉を書こうー	a. 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a. 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 a. 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。 b. 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ全体の構成、目的や用途に即した表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し、工夫している。 b. 創造された作品に価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c. 自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c. 書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 プリント	振り返りシート 観察